

元総社地区

地域づくり協議会だより

第9号 2019年(平成31年)3月発行

発行：会長 阿部 明雄
編集：広報委員会
事務局：元総社公民館
電話：251-2243

「住み続けたい元総社」

地域づくり協議会

会長 阿部明雄



本年度の地域づくり協議会の活動も、各役員さんを中心として地域の多くの皆様のご協力をいただき、各部会の事業も予定通り活発に盛大に実施できました。厚くお礼申し上げます。

地域づくりの、歴史伝統、全安心、福祉・交流の三部会のそれぞれの事業は、私たちの毎日の生活が明るく元気に、そして楽しい日々が過ごせる基本的なことを目指しております。

元総社地区の多くの方たちの親睦と交流を図りながら着実な地域づくりを推進してまいりたいと考えます。

三十一年度は、元総社地区の地域での見守りを高める、「生活支援体制整備事業」の取り組みを具体化してまいります。このためには、合わせて地域の健康寿命を延ばす取り組みも重要になってくると思われまます。

本年度の各部会の事業をご報告し、新年度は、また新たな活力を生み出す源となりますようよろしくお願い申し上げます。

(歴史伝統部会)



(安全安心部会)



(福祉・交流部会)



歴史伝統部会

部会長 金井光明

平成三十年度の事業は、前年同様、五つの事業を継続し、新たに史跡案内板設置事業を開始しました。

部会員二十名から事業ごとにリーダーを設け、部会員が積極的に進めていけるよう考慮しました。

◇平成三十年度事業計画

一 伝統芸能の保存と紹介および支援

二 昔の地区写真の募集と展示

三 上野国分寺まつりへの参加

四 元総社郷土かるたを巡るウォークラリーの開催

五 第十回元総社郷土かるた大会の開催

六 元総社地区史跡案内板の設置（新規）

を決定しました。

◇平成三十年度事業報告

一 伝統芸能の紹介および支援

左記三団体の保存活動が円滑に行われるために支援金を交付するとともに、十一月九日から十一日に行われた元総社地区文

化祭に出演していただき、普段見ることのできない舞などを披露していただきました。

・ 総社神社太々神楽保存会

・ 元総社上宿町獅子舞保存会

・ 大友町百万遍保存会

二 昔の地区写真の募集と展示

十一月九日から展示

元総社町の北を東西に貫く西毛広幹道が開通しこの地域が大きく変わろうとしています。

新たに提供された昭和四十年

代の懐かしい写真が元総社公民館ホール脇に展示されています。

今回は、下石倉町や新前橋駅の北側が変化していく写真が提供されました。

三 上野国分寺まつりへの参加

実施日 十月二十八日（日）

元総社地区から総社神社の太々神楽と、元総社上宿町の獅子舞が出演し、まつりを盛り上げました。天平衣装行列には元総社の小学校三校の二十八名がきらびやかな衣装に身を包み古の道を歩きました。着付けボランティア、着付け友の会の皆さんが天平の姿を再現してくれました。



四 郷土かるたを巡るウォークラリーの開催

実施日 十月二十一日（日）

前八区自治会長の高橋正雄さんに案内をお願いしました。

元総社郷土かるたの理解を深



める活動として毎年、開催しています。今回は、石倉町を中心に史跡の見学を実施しました。

五 第十回元総社郷土かるた大会の開催

実施日三十一年二月三日（日）

今回で十回となり各地区から二十チームが参加。五区Bチームが接戦を勝ち抜き、優勝しました。

六 史跡案内板の設置事業

住民の地域に対する理解・認識を更に高めるため、元総社郷土かるた等に読まれていた史跡などに説明案内板を設置する調整を進めています。

◇平成三十一年度事業計画（案）

一 伝統芸能の保存と支援

二 昔の地区写真の募集と展示

三 上野国分寺まつりへの参加

四 元総社郷土かるたを巡るウォークラリーの実施

五 元総社郷土かるた大会の実施

六 元総社地区史跡案内板の設置

などを計画しています。

皆様の積極的な参加をお願いします。

安全安心部会

部会長 小鮎文明

◇平成三十年度事業方針

安全安心な暮らしづくりを旨とした事業を展開し充実を図る。元総社地区防災訓練の実施や各地区の防災事業を支援し、防災知識と技術を身に付けて頂き、地域住民の防災意識の向上を目指す。

◇平成三十年度事業報告

一 普通救命講習会

リーダー研修会として、人命を守るための救命技能を学ぶ普通救命講習（三時間コース）を受講しました。



実施日 八月二十六日（日）

会場 西消防署・会議室

参加者 自治会長

安全安心部会員

内容 心肺蘇生法、AED使用

法、止血法、異物除去法

講師 西消防署職員

受講後には、参加者へ修了証が交付されました。

二 元総社地区防災訓練

これまで防災訓練は、元総社公民館で実施してきましたが、第二次指定避難所の運営などが計画されている状況に合わせ、会場を学校に変更して訓練を行うこととしました。



災害想定及び訓練目的

震度六強の地震が発生し、元総社地区では多くの建物が全半壊したとの想定に基づき、第二次指定避難所となる学校への避難と避難所の開設について経験を積むこととしました。

実施日 十一月二十五日（日）

会場 元総社中学校

訓練内容

避難者の受付、会場の設置、避難所概要についての講話、グループ訓練（施設安全点検、資材組立・機器試運転、応急手当）、炊出し、放水訓練

参加人員 百七十七名

訓練協力団体 危機管理室・避難所担当職員、西消防署、消防団第五分団、女性防火クラブ、各自治会

三 安全安心な暮らしを守る講習会等事業の支援

各地区が実施する安全安心等の事業に対し、一万円を交付して支援を行いました。

一区 防災訓練※

二区 防災訓練※

三区 防災訓練※

四区 交通講習会

五区 防災訓練※

六区 交通安全

八区 安心交流

十区 防災講座会※

十一区東 防災訓練※

十一区西 安全講座

問屋 防災講習会

※は、危機管理室が講師

四 青色パトロール活動の支援

「ちいきとこどもをまもるパトロール隊」の活動は、元総社地区の犯罪防止の抑止力として地域の安全安心に貢献していることから支援をしました。

五 その他

かんぼう元総社へ協力団体の活動を掲載依頼しました。

◇平成三十一年度事業計画（案）

一 元総社地区防災訓練

二 安全安心な講習会等事業の支援

三 リーダー研修会

四 青色パトロール活動の支援

五 その他

AEDや公衆電話等を網羅した防災マップの作成、住警器（煙感知器）の設置・更新の促進、地区備品の試運転、防災グッズの普及

福祉・交流部会

部会長 女屋勝男

平成三十年四月二十五日、元総社市民サービスセンターにおいて、地域づくり協議会総会及び「福祉・交流部会」が開催され、今年度の事業計画が次のように決定しました。

◇平成三十年度事業計画

一 第四回三世代スマイルボウリング大会の開催
七月一日(日)

二 在宅高齢者ふれあい交流事業への支援

三 実績報告会等研修会の開催

◇平成三十年度事業報告

一 第四回三世代スマイルボウリング大会

開催日 七月一日(日)

場所 元総社小学校

チーム編成 小学三年生く六年生二名、中学生く五十九歳一名、六十歳以上二名

参加チーム 二十七チーム
成績

優勝 一区ガーネットチーム
準優勝 九区下石倉チーム
第三位 七区上石倉チーム

ストライク賞 七名
ベストスコア賞 十五点

一区ガーネットチーム

この大会は、昨年に引き続き四回目で、多くのチームが参加して盛大に行われました。真夏の非常に暑い中でしたが、熱中症もなく、大いに楽しんでいただきました。

普通のボウリングとは違いゲートを通す技が要求されます。皆さん、経験豊富で素晴らしかったです。今回も体育推進委員会、福祉・交流部会員、サービスセンター職員の皆様には、沢山のご協力を頂きありがとうございました。



二 在宅高齢者ふれあい交流事業

業等への支援と実績報告会

在宅高齢者等ふれあい会食サービス配分事業やいきいきサロンなどが円滑に実施されることを目的に各地区へ助成金を交付して支援を行いました。

事業の充実や情報の共有を図るために実績報告書に関して意見交換を行い、実績報告書の提出時期や検討資料の作成について確認をしました。

三 生活支援体制整備事業研修会への参加

開催日 七月三十日(月)

会場 元総社市民サービスセンター

参加者 自治会長、民生委員児童委員、保健推進員、老人クラブ会員、福祉・交流部会員

講師 市社会福祉協議会、長寿包括ケア課、地域包括支援センター

テーマ「生活支援体制整備事業について」

合同会議の中で高齢者を支え合う、日頃の見守りなど従来の活動に加えて改めて見守り活動

の方法等が新たに見えてきた課題であり、不可欠なことであることが、理解出来ました。



◇平成三十一年度事業計画(案)

一 第五回三世代スマイルボウリング大会の開催
七月七日(日)予定

二 在宅高齢者ふれあい交流事業への支援

引き続き、各地区で円滑に事業が実施されるよう助成金を交付して支援を行います。

三 生活支援体制整備事業研修会などに参加

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができるような支え合い、助け合いの仕組みをつくるための研修会などに参加をします。